

2026年1月

保護者の皆様

町田市立町田第二小学校

校長 ト部 敦彦

学校教育に関するアンケートについて

初春の候、保護者の皆様には益々ご清祥のことと存じます。いつも本校の教育活動にご協力いただきましてありがとうございます。

さて、昨年の11月から12月かけて行いました学校評価について下記のとおり報告をさせていただきます。アンケート結果、並びにいただきましたご意見・ご要望に関しては、真摯に受け止め、励みにし、教職員一同一層努力して参ります。

記

ア 開かれた教育課程の実現に関するこ

アに関する項目として以下の4つの質問を行いました。

【学校は、地域人材を積極的に活用した教育活動を行っている。】

【学校は、地域と一体となって子どもたちを育んでいる。】

【学校は、保護者や地域の方に対して情報発信をしている。】

【学校は、保護者会や学校公開、学校行事などで、教育活動を公開している。】

上記の4つの質問すべてにおいて、昨年に引き続き、80%以上の肯定的な評価をいただきました。【学校は地域人材を積極的に活用した教育活動を行っている。】の質問と回答について着目すると、「そう思う」「どちらかといえば、そう思う」と回答した保護者は、約86%で昨年度よりも約3.5%上がりました。特に「そう思う」と回答した保護者の割合は、昨年度と比べて約30%から約45%と大幅に上昇しました。今年度本校では、町探検、キャリア学習、福祉体験、学習発表会などの場面で地域のボランティアの方々や、地域で働いている方々にご協力いただき、お話を伺うことやインタビュー活動を行いました。また、保護者の意見に目を通してみると、お子様が楽しく学校に通っているといった声が多くありました。地域の方々と一体となり充実した学習活動ができたことが、今回の評価につながった一因であると考えます。

今後もホームページの充実や学校公開等を通して、情報発信に努め、より一層地域との関りを増やして教育活動を進めていきたいと考えております。引き続き、ご協力よろしくお願ひします。

イ 確かな学力の育成に関すること

イに関する項目として以下の5つの質問を行いました。

【お子様は、各教科の基礎的・基本的なことがらが身に付いてきている】

【お子様は、自らすすんで宿題や家庭学習に積極的に取り組んでいる。】

【お子様は、自らすすんで読書をしている。】

【お子様は、英語学習に楽しく取り組んでいる。】

【お子様は、ICT（学習機器）を週3回以上活用している。】

上記の質問のうち【お子様は、各教科の基礎的・基本的なことがらが身に付いてきている。】の回答結果に着目すると、「そう思う」「どちらかといえば、そう思う」と回答した保護者の割合は、95%を超えました。本校では、1年生からの少人数算数指導、ICT機器の活用、また、町田市教育プラン24-28に基づき「学び続ける力」の育成に向けて授業改革を進めています。日々の取組が児童の確かな学力の向上に少しづつ現れてきている成果と感じます。

また、【お子様は、学校ですすんで読書をしている。】という質問の回答結果に着目すると、「そう思う」「どちらかといえば、そう思う」と回答した保護者の割合は、約60%程度で昨年度よりもわずかに上昇しました。しかし、裏を返せば依然として約40%もの保護者が「どちらかといえば、そう思わない」または「思わない」と回答されている現状があります。

本校では、読書に親しむ児童とそうでない児童とで二極化している傾向があり、その状況はここ数年続いています。そのため今年度、図書委員会では、図書委員による読み聞かせや読書スタンプラリー、本に登場する料理を再現した給食でのコラボメニューづくりなどを通して全校児童に本の良さやおもしろさを伝える活動を増やしました。これらの活動が本に触れるきっかけとなり、児童が少しでも読書に親しむ時間を増やせるように引き続き取り組んでいきます。

ウ 豊かな心の涵養（心の教育及び生活指導を含む）

ウに関する項目として以下の5つの質問を行いました。

【学校は、いじめ防止や体罰防止に取り組み、子供の人権を大切にしている。】

【お子様は、学校のきまりや家庭でのきまりを守っている。】

【お子様は、あいさつをきちんとしている。】

【お子様は、交通事故防止や不審者対応などの安全意識が身に付いている。】

【お子様は、ICT(学習機器)、スマートフォンなどによるネットマナーが身に付いている。】

上記の5つの質問のうち、【お子様は、あいさつをきちんとしている。】では、「そう思う」「どちらかといえば、そう思う」と回答した保護者の割合は、95%を超えるました。保護者のご意見から、「挨拶が自然とできる児童が多く、雰囲気の良い学校だと感じています。」と、嬉しいお声をいただきました。今後も、学校全体で取り組んでいる挨拶運動を継続し、気持ちのよい挨拶のできる町田第二小学校を目指してまいります。

一方で、【お子様は、I C T、スマートフォンなどによるネットマナーが身に付いている。】は、「そう思わない」「どちらかといえば、そう思わない」と回答した保護者の割合が約25%でした。

学校としても、情報モラルやネットリテラシーに関する指導をセーフティ教室でも1年生より行い、情報社会に生きる健全な児童の育成を目指しています。情報社会に生きる健全な児童の育成の実現のためには、保護者の皆様のご協力も不可欠と考えています。児童が情報機器を使用する際には、「家庭でのルール」を今一度お子様と確認し、適切に使用できるようお願いします。

今回、totoruにて3回にわたってアンケート回答のご協力をお願いしました。その結果95%以上の保護者の皆様に回答をいただくことができました。改めまして感謝申し上げます。

今後とも、本校の教育へのご理解、ご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。